

土木学会平成29年度全国大会
研究討論会 研一23資料

質の高いインフラ投資の実現に向けた ODA事業の改善方策

日 時 平成29年9月13日(水)13:00～15:00
場 所 九州大学伊都キャンパス
教 室 センター2号館2404

建設マネジメント委員会

趣旨説明(1)

建設マネジメント委員会の海外展開に関する活動

2010年3月 提言「インフラチームジャパンを世界へ!

～ Think Globally, Act Locally ～

2010年12月 特別講演会「建設産業の国際展開へ向けて」

寺島実郎氏((財)日本総合研究所 理事長)

尹萬根氏(SAMSUNG C&T Corporation)

2011年8月 国際展開推進プロジェクト小委員会報告書

- 現状の課題の解決
- 過去の成功事例の調査
- インフラチームジャパンの推進方策

インドネシアでの有料道路プロジェクトでケーススタディ

→新しいPPPの提案(SPCが施設建設に参加、CM/GC)

2015年2月～ 建設産業グローバルビジョン講演会(共催;国際センター)

「世界のリーダーと語る建設産業のグローバル戦略」

第1回;世界のコンサルタントに学ぶ

第2回;建設産業のM&Aに学ぶ(AECOM)

第3回;世界のコンセッション事業における土木技術者の多様な役割

趣旨説明(2)

ODA活用小委員会発足の経緯

1. 最近のODA工事の問題

無償: 遠隔地で単発発注⇒参加者がいない＝不調

価格が折り合わない⇒不落

本邦技術活用型(STEP): 工事リスクに対応できない⇒不調・不落

一般円借: 他国との過度な価格競争

⇒失注、日本の建設技術が生かされない

日本の開発援助が計画通りのコストで、時間内に、品質を確保して整備できない

2. 特別小委員会の設置(2015年3月)

建設マネジメント委員会でこれまでも海外展開のための活動を行ってきたが、これまでの研究の蓄積を活用して具体的な方策を提案する

⇒現行のODA工事の問題点の抽出

⇒建設産業がODA事業を通じて国際貢献をさらに進める方向を確立

⇒ODAを活用してPPPによるインフラ輸出の可能性についても検討

提言の趣旨

- (1) 政府開発援助(ODA)事業は、我が国の技術移転、現地の人材育成を行いながら、国際貢献を果たし、我が国の国際的認知度を高めるための重要な事業
- (2) 長期的に質の高いインフラ事業の実現のためには、事業の上流段階に施工者の技術力、ノウハウを投入し、適切な現場管理を行うことが有効
- (3) 海外のインフラ事業は、一般的にリスクが大きく、事前の十分な調査によるリスク低減努力が必要

→ 2015年6月 中間報告書
2つの新しい事業方式(WCS, WRA)を提案

WCS: Wrap-up Construction Service

WRA: Wrap-up Regional Agreement



おくむら やすひろ
奥村 康博

1989年 3月 京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修了

- 1989年 4月 建設省採用
- 2000年 4月 // 道路局地方道課市町村道室課長補佐
- 2002年 4月 国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所長
- 2006年 4月 // 九州地方整備局企画部企画調整官
- 2007年 10月 神奈川県県土整備部参事
- 2009年 7月 国土交通省総合政策局国際建設推進室国際建設技術企画官
- 2011年 7月 // 道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室長
- 2014年 4月 長野県建設部長
- 2017年 4月 総合政策局海外プロジェクト推進課長



こん てつたろう
金 哲太郎

1998年 4月 一橋大学 法学部卒

2001年 12月 Columbia University, School of International
Affairs (SIPA) Master of International Affairs

1998年 4月 海外経済協力基金(OECF)入社

1999年 10月 国際協力銀行(JBIC)入行(組織統合に伴うもの)
スリランカ・バングラデシュ・ベトナムの国担当

2007年 7月 JBICインド事務所駐在員

2008年 10月 国際協力機構(JICA)入構(組織改編に伴うもの)、インド駐在員

2010年 7月 財務省国際局開発機関課へ出向 (ADB担当)

2012年 7月 JICA東南アジア大洋州部 四課(ミャンマー担当)企画役

2014年 8月 JICA中東・欧州部 中東二課課長(イラク、イラン、シリア、レバノン、
GCC)

2017年 3月 JICA企画部業務企画第二課長(有償資金協力関連担当)



つたえ さとる
傳 暁

1987年 米国コーネル大学大学院修士課程修了
土木学会フェロー会員

- | | |
|------------|----------------------|
| 1976年 | 大成建設株式会社入社 |
| 1984年 | サウジアラビアにて建設工事勤務 |
| 1988-2000年 | インドネシア、パキスタンにて建設工事勤務 |
| 2007年 | 国際支店土木部長 |
| 2011年 | 執行役員 |
| 2009-2014年 | アルジェリアにて建設工事勤務 |
| 2015年 | 常務執行役員
国際支店副支店長 |



はやし ゆきのぶ
林 幸伸

- 1977年 日本工営株式会社 入社
一貫して海外プロジェクトの調査・計画・監理に携わり、特にプロジェクトマネジメント業務（コスト積算、工事工程計画、入札業務、契約管理業務）に多くの経験を有する。
これまでに滞在したプロジェクトの所在地はアジア、中東、アフリカ、中南米など20か国。
- 1999年 FIDICレッドブックとイエローブックの日本語版発行（（旧）日本コンサルティングエンジニア協会（現在は海外コンサルタンツ協会）翻訳主査。
- 現在 日本工営株式会社コンサルタント海外事業本部 国際契約統括部長として、コンサルタント契約書ならびに工事契約書に関わる管理を担当。



ふくもと かつじ
福本 勝司

1983年 米国スタンフォード大学修士課程修了
土木学会フェロー会員

- 1974年 株式会社大林組入社
- 1983-1997年 米国建設工事勤務
- 2007年 執行役員
- 2009年 海外支店副支店長
- 2010年 常務執行役員
本社土木本部副本部長／海外支店副支店長
- 2017年 大林道路株式会社代表取締役社長

□ 土木学会 建設マネジメント委員会 ODA活用小委員会 副委員長

本日の進行

1. 質の高いインフラ投資の実現に向けて(30分)

(1) 国土交通省の取り組み; 奥村康博様

(2) 国際協力機構の取り組み; 金 哲太郎様

2. ODAインフラ事業の課題とその背景(30分)

(1) 建設会社の視点; 傳 暁様

(2) 建設コンサルタントの視点; 林 幸伸様

3. ODA活用小委員会の活動紹介(20分)

福本勝司様

4. 全体討議(30分)

(質疑時間を含む)